



平成 26 年 8 月 25 日

天候異変

院長 三和 敏夫

今年の夏シーズンは猛暑～大雨、落雷もあればひょうも降った。未曾有の天候異変(不順)、更に台風が 2 度～3 度の襲来し、山くずれ(土砂災害も含む)が頻発、豪雨に落雷や竜巻も起こした。これら異常現象を記録史上始めての、又は半世紀に 1 回程の異常気象が狭い小さい日本をおそった惨事となった。幸にも当市付近は地理や気象にも恵まれて無事に、台風もコースをはずれて助かった。

診療の一つの事実として猛暑の時期に海や川での水泳後に日焼けを起こし、後に水疱形成と肌荒れでまるで熱湯(ヤケド)を受けた如くの皮フ炎で、痒みと痛みが強く来院患者が夏のシーズンに多くあるが、今年は今所わずか 2 名の方のみである。

夏のレジャー客をあてにしていた客商売の地域や業者の方々には全くあてはずれで怒りとストレスが山積みしていられると察する。今夏の猛暑はあとはどうなるのか、更に今秋から冬にかけて予想し難い天変地異が起こりうるか心配と不安が起こる昨今です。皆さん各自でお体を一層ご自愛下さい。

結婚 45 年記念



ともえだ皮フ科(次男) 院長
(8 月 2 日開院)



納涼慰労会 (8 月 21 日)
三和皮フ科職員
ともえだ皮フ科職員
ともえだ皮フ科開院 祝
三和皮フ科 33 周年 祝